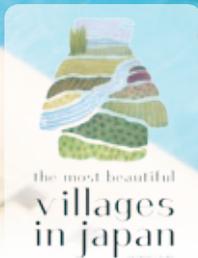


おおたま

2020

No. 118

令和2年8月発行



大玉村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

きもちい～、プール最高!! (玉井幼稚園)



6月定例会開催 P 2～5

今年度の国民健康保険税は？
新型コロナウイルス感染症対策関連経費などの補正予算
意見書2件を提出

一般質問 P 6～15

目指せ!! 健康長寿日本一おおたま P 16

対策関連経費など

予算 10億2,832万円

6月定例会開催

今年度の国民健康保険税は？

1人当たり
平均課税額
10万4,741円
(3.3%減)

1世帯当たり
平均課税額
16万3,390円
(3.5%減)

令和2年度の国民健康保険税を決める税条例が改正されました。

国民健康保険税は、その年度に予測される医療費から国保加入者が病院に支払う一部負担金、国の補助金などを差し引いた分が国保税の総額となり、国保加入者に負担していただくものです。平成30年度に財政運営主体が市町村から県へ移行されましたが、按分率等は従来通り村で算定しています。

本年度の国民健康保険税は下の表のとおりです。なお、一人当たり・一世帯当たりの平均課税額の減額は、新型コロナウイルス感染症の影響による個人事業者の事業不振や消費増税などを鑑み、国民健康保険財政調整基金を1千万円取り崩し、税額を引き下げるものです。

6月定例会は、16日から19日までの4日間の会期で開かれました。内容は、村長提出案件20件（専決処分6件、条例改正5件、条例廃止1件、補正予算4件、協約変更案件1件、村道路線認定1件、人事案件1件、報告1件）および議員発議2件、合わせて22件が提出され、審議した結果、原案どおり可決しました。なお、陳情は3件提出され、審査の結果は4ページのとおりです。

令和2年度 国民健康保険税按分率

項 目		令和2年度	令和元年度	比 較	
応 能	所 得 割	医療給付費	6.60%	6.95%	0.35%減
		後期高齢者支援金	2.57%	2.71%	0.14%減
		介護納付金	2.14%	2.31%	0.17%減
応 益	均 等 割 (加入者1人当たり)	医療給付費	22,600円	23,700円	1,100円減
		後期高齢者支援金	8,800円	9,200円	400円減
		介護納付金	10,500円	11,100円	600円減
益	平 等 割 (1世帯当たり)	医療給付費	19,600円	20,700円	1,100円減
		後期高齢者支援金	7,700円	8,100円	400円減
		介護納付金	6,500円	6,800円	300円減

項 目		令和2年度	令和元年度	比 較
賦課限度額 (税の上限額)	医療給付費	63万円	61万円	2万円増
	後期高齢者支援金	19万円	19万円	(据え置き)
	介護納付金	17万円	16万円	1万円増

新型コロナウイルス感染症

専決処分を含む一般会計補正

令和2年度 6月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	10億2,832万円	53億2,105万円
国民健康保険特別会計	391万円	8億9,560万円
介護保険特別会計 【保険事業勘定】	—	7億5,297万円
水道事業会計 【資本的支出】	650万円	6,920万円

※補正額は専決処分による補正予算も含めています。
※介護保険特別会計【保険事業勘定】は、歳入歳出予算額を調整し、
予算総額を変更しない補正である。

一般会計

【歳出 主なもの】

- 特別定額給付金関係 8億9,186万円
- 新型コロナウイルス感染症対策
 - 中小企業等経営持続化繋ぎ交付金 1,800万円
- デマンドタクシー購入・運行事業 900万円
- 安達地方発熱外来事業負担金 130万円
- イノシシ被害防止総合対策実証事業 1,200万円
- スクールバス購入事業 2,400万円

議会が注目する予算

イノシシ被害防止総合対策実証事業

補正額 1,200万円

問 委託予定先が県外の業者なのはなぜか。また対象地区だけでの実施になるのか。

答 仙台の業者のみ専門員がいて実績もあることから、委託先として検討している。今回は9区での実証だが、研修会は全村民に参加を呼びかける。来年度以降は成果を基に事業を全村に広げていきたい。

移動販売車購入

補正額 800万円

問 事業の内容は。また誰がどのように使うのか。
答 高齢者などの買い物弱者を対象に移動販売を行う。公募などにより委託先を決定し、村が車を貸し出す形で使用してもらう。

学校給食費補助金

補正額 490万円

問 学校給食費補助の内容は。
答 コロナ禍による保護者負担を軽減するため、4月からの20%補助を30%補助に引き上げる。

人事案件

大玉村農業委員会委員の 任命の同意

平成28年から農業委員会委員は、選挙を行う「公選制」から、公募を行い村長が任命する「任命制」へと法改正されました。

任期満了に伴う7月20日からの新たな農業委員会委員9名の任命について同意しました。任期は、令和5年7月19日までの3年間です。新しい委員は次の方々です。

(敬称略)

氏名	住所
矢吹 義光	大山字三ツ森
高橋 貞一	大山字石位
渡邊 栄治	玉井字午房内
笹山紀美子	玉井字町
根本 教夫	玉井字三合内
遠藤 勝栄	大山字大皿久保
菊地吉一郎	大山字玉貫
後藤 和吉	玉井字菜塚
鈴木 武市	玉井字中道

6月定例会 議決結果

議案番号	議案名	結果
議案第30号	大玉村税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第31号	大玉村国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第32号	大玉村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第33号	令和2年度大玉村一般会計補正予算の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第34号	令和2年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第35号	令和2年度大玉村一般会計補正予算の専決処分の承認を求めることについて	原案可決
議案第36号	大玉村固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第37号	大玉村税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第38号	大玉村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第39号	平成23年東日本大震災による被災者に対する村民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第40号	大玉村介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第41号	大玉村帰還環境整備交付金基金条例を廃止する条例について	原案可決
議案第42号	令和2年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第43号	令和2年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第44号	令和2年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第45号	令和2年度大玉村水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第46号	郡山市と大玉村との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約の締結に関する協議について	原案可決
議案第47号	村道路線の認定について	原案可決
議案第48号	大玉村農業委員会委員の任命について	同意
議員発議第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	原案可決
議員発議第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書について	原案可決

6月定例会に提出された陳情

件名	提出者	付託委員会	審査結果
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	福島県二本松市高田 日本労働組合総連合会福島県連合会 二本松・安達地区連合 議長 高橋 誉	総務文教	採 択
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	福島県二本松市高田 日本労働組合総連合会福島県連合会 二本松・安達地区連合 議長 高橋 誉	産業厚生	採 択
日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書提出の陳情について	福島県田村郡三春町上舞木 福島県原爆被害者協議会 会長 木幡 吉輝	総務文教	趣旨採択

意見書	提出先
地方財政の充実・強化を求める意見書	内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生、規制改革）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、福島労働局長

※意見書とは…地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめたもの。地方自治法第99条には、「地方自治体の議会は、当該普通公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」と規定されている。具体的には、議員が発議して本会議にはかり、議長名で関係機関に提出する。



6月定例会では、6月18日に7人、19日に3人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に6ページから15ページです。

わたなべ けいこ 渡邊 啓子	1. 新型コロナウイルスの影響と対策は 2. 通学路に歩道の設置を求める	6ページ
おしやま よしのり 押山 義則	1. 新型コロナウイルス感染症対策を聞く！	7ページ
さいとう しんいち 斎藤 信一	1. コロナ疲れの対応と子どもの育ちの環境について 2. 大型特殊免許農耕車限定免許について	8ページ
まつもと のぼる 松本 昇	1. 横堀平応急仮設住宅解体後の土地利用について 2. (仮称)西部幹線道路の計画について	9ページ
すずき やすひろ 鈴木 康広	1. 新型コロナウイルスから村民を守る対策を 2. コロナ禍でも安心な教育環境の確保を	10ページ
ほんた やすお 本多 保夫	1. 定年退職後の職員再任用について 2. 村道細田矢沢線の県道昇格について	11ページ
たけだ えつこ 武田 悦子	1. 新型コロナウイルス感染症への対策を	12ページ
すどう くんぞう 須藤 軍蔵	1. 新型コロナウイルス感染症対策の強化を 2. 住民から信頼される村・職員とは	13ページ
さわら さゆり 佐原佐百合	1. コロナ禍で自然災害に備えるには 2. 子どもたちの心のケアと学習支援のために	14ページ
きくち あつり 菊地 厚徳	1. 学校行事と今後の課題について 2. 直売所を考える	15ページ

※一般質問…議員が村の行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をたたくこと。大玉村議会の一般質問は、一人30分以内で答弁時間は含まない。

一
般
質
問

ここが聞きたい！ 10人の議員が登壇

新型コロナウイルスの影響と対策は

質問趣旨

感染の第2波が予測される中で、今後の保育や教育の現場、高齢者の心身の健康をどう考えていくか。

渡邊啓子議員



渡邊

保育所や幼稚園では、どのような感染防止対策がとられているか伺う。

住民福祉部長

保

育所職員は、検温や行動履歴の記録、家族や自身の体調不良時の出勤自粛、マスクの着用と手指の消毒などを行っている。施設としては定期的な遊具等の消毒、換気、各種行事の規模縮小などの対策をしている。

教育長

幼稚園では、手洗いの励行や子ども同士の間隔をとるなどの指導をし、誕生会や昼食も分散で行っている。また子どもたちの在園時間中も、こまめに消毒を行なっている。

渡邊

小中学校の教室内や職員室は密になつてはいないか。

教育長

教室では机の間隔を極力とるようにしている。職員室では先生の机の間に仕切りを設置している。また仕事をなるべく教室で行い、密にならないような対策も講じている。

渡邊

保護者が新型コロナウイルスに感染し、子どもの面倒をみられる親族等がない場合の対応は整っているか。

住民福祉部長

相談が

あった場合は、いち早く中央児童相談所につないで、子どもを一時保護してもらおうよう対応する。

渡邊

外出自粛により高齢者の運動機能や認知機能の低下が懸念されている。高齢者の心身の健康を保つためにできることは何か。

住民福祉部長

新しく

村が取り組む「元気づくりシステム」などを通して、心身の健康を保てるようにしていきたい。



感染予防は手洗いの徹底から

通学路に歩道の設置を求める

質問趣旨

児童生徒の安全確保のため、農村環境改善センターから玉井小学校までの通学路に歩道の設置が必要である。

渡邊

県道大橋五百川

停車場線の農村環境改善センターから玉井小学校までの通学路に歩道の設置を求める声がある。すでに県に要望してあると聞くが、時期と内容を伺う。また他にも通学路の歩道設置要望路線はあるのか伺う。

産業建設部長

当該路

線について、約20年前から玉井字薄黒内内内から石保呂内内までの約1760mの区間に両側歩道設置の要望を継続している。その他、旧国道の大山字鍛冶内内内から馬尽内内までの約500m、大山字玉貫内内から住吉内内までの約1200m、大山字神原内内内250mの区間について、それぞれ設置を県に要望している。

渡邊

歩道の設置時期

の見通しを伺う。

産業建設部長

昨年度

の県からの回答は、整備が必要な箇所が管内に多数あり、全体的な事業進捗状況を見極めながら調査、検討を進めていきたいとのことであった。現時点での歩道設置時期の見通しは不明となっているが、引き続き強く要望していきたい。

渡邊

約20年前から要

望し、いまだに実現され

ていない。時間がかかりすぎではないか。

村長

県全体での整備

要望箇所が多数あり、農村部の歩道設置は後回しになるという事情もある。改善センターから玉井小学校の区間は県が調査に入ったので、実現に大分近づいてきたと期待している。今後も強く要望していきたい。



歩道設置が求められる県道大橋五百川停車場線

押し
山
義
則
議員



新型コロナウイルス感染症対策を聞く!

質問趣旨

コロナ禍による社会生活への影響を踏まえた行政としての対応、新しい生活様式の取り組みや仕組みづくりを伺う。

押山 新型コロナウイルス感染症の認識、社会や経済への影響に対する対応を伺う。

村長 未曾有のコロナウイルスはこれまでの感染症と比較にならない状況であり、生活や経済など全てに影響する大きな災害と認識している。影響は3、4年続くと感じており、しっかりと状況を把握して対応していきたい。

押山 働き方改革や健康志向の観点から、農業が見直されると考える。農業振興公社を1日も早く設立し、農業振興に努める考えを伺う。

産業建設部長 先進地調査やJAとの打ち合わせを行なっている。今後、検討委員会を設けて、公社の設立に向けた協議検討を進め、準備に力を注いでいきたいと考えている。

押山 子育て支援として、学校給食費の全額無料化にコロナ禍が収束までの間だけでも踏み切ることはできないか。

村長 給食費は補助率を1割引き上げた3割補助を今定例会に提案している。今後、財政状況や子育て支援の状況を見極め、必要となれば引き上げを考えていきたい。

押山 高齢者のための感染症対策として、インフルエンザや肺炎球菌の予防接種の補助拡充を求めめる。

村長 財源の問題があるが補助の見直しをしていきたい。

押山 公設民営の村づくり株式会社はコロナ禍で厳しい状況にある。支援の必要性を伺う。

産業建設部長 お食事処たまちゃんやアットホームは、国・県・村の支援や助成制度の活用を図るほか、指定管理料の再算定により休業期間等の減収補填を検討するなど、状況を見据えながら必要な支援をしていきたいと考えている。



5月18日から営業を再開したお食事処「たまちゃん」

押山 児童生徒の学びを保障するための総合的な対策として、感染リスクを考慮し、中学校のトイレ清掃専門員を配置できないか。

教育長 自分たちの学校を自分たちできれいにしようという日本型教育の指導観のもと清掃活動を進めている。感染防止

に努めながら行っていきたい。

押山 健康ポイント事業の中に、新しい生活様式の定着を前提とした事業展開はできないか。

住民福祉部長 新しい生活様式に則したポイント付与は、健康長寿推進村民会議で検討していきたい。



健康ポイント事業（元気づくりシステム 7月6日大馬集会所）

コロナ疲れの対応と子どもの育ちの環境について

質問趣旨

感染症対応で精神的に疲弊した住民への適切なケアと子どもたちが3密を避け気軽に運動できる環境づくりを求める。

【教育長】 長期にわたり臨時休校を余儀なくされ、学校を再開しても子どもたちの不安は残っている。保護者には心配ごとを遠慮なく相談するよう文書で呼びかけている。文科省などからの専門的な心理学の資料を活用し、保護者や子どもたち



整備が求められる公園

【斎藤】 子どもたちが不安やストレスをためないよう、大人が心がけることを十分に検討周知しているか。

【住民福祉部長】 住民の方々が地域で気軽に運動を行える屋外施設として、公園の再整備の必要性は十分に認識している。現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を優先しており、今後の課題として検討していく。

【斎藤】 子どもたちが不安やストレスをためないよう、大人が心がけることを十分に検討周知しているか。

【住民福祉部長】 住民の方々が地域で気軽に運動を行える屋外施設として、公園の再整備の必要性は十分に認識している。現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を優先しており、今後の課題として検討していく。



斎藤 信一 議員

【斎藤】 アフターコロナに対する不安やストレスをアンケート等の手段で把握しているのか伺う。

【斎藤】 家から学校や運動場まで遠い子どもは、施設の利用に格差がある。子どもや地域の方が気軽に分散して運動できるように、地域の公園の舗装化やスポーツ器具設置などの再整備が必要ではないか。

大型特殊免許農耕車限定免許について

質問趣旨

車幅1・7mを超える農耕トラクターは大型特殊免許が必要になった。村の農業を守るためにも免許の取得支援を望む。

【斎藤】 道路交通法改正により、トラクターに適用される基準も変わり、大型特殊免許が必要な場合が増えてきた。違反により検挙されれば罰金や免許取り消しとなり、農業だけでなく生活にも多大な影響が懸念される。村としてどのように考えているか伺う。

【斎藤】 農家の方からは、手続きが分からない、試験会場が遠いなどの声が上がっている。村が受講者を募り、集団で受講・受験ができるよう支援する考えはあるか。

【産業建設部長】 大型免許には汎用免許と農耕車限定の免許がある。県の農業短期大学では農耕車

道路交通法改正により、ロータリー等を装着したまま公道走行が可能になりました。

今般、農作業機を装着した農耕トラクターによる公道走行に当たっての留意点を明確にするため、農務課編成から「農務課農業機械の安全管理担当係」に農機具検査係を設置して対応が開始された。

これにより、農耕トラクターの農機具が取り付けられた農機具限定の免許や農機具限定の免許を申請することにより、農機具を装着したまま公道走行が可能になります。ロータリー等の農機具を装着した状態のトラクターが一定の条件を満たした場合は公道走行が可能になりました。関係の方々への普及を第一に、注目を集めています。

※農機具の検査、農機具の取り付け、ロータリー、PTO、後部作業機、後部作業機等の取り付けに注意する必要があります。

小型 特殊 普通 免許では全幅が1.7m以下です。幅が1.7mを超える大型特殊免許が必要となります。

一部の農機具は以下のようになります。

- ①車両幅の確認
- ②免許の確認
- ③灯の確認
- ④安全性能の確認

※PTO等の農機具は、地方自治体で確認してください。

ご注意ください!!

以上の条件を満たさないとトラクターを運転すると、無免許運転となり、罰金50万円以下、免許取消し、交通違反点数は25点、最低2年間免許は取れません。

福島県農業機械商業協同組合

【産業建設部長】 大型免許には汎用免許と農耕車限定の免許がある。県の農業短期大学では農耕車

他に次の質問がありました。
・災害時の住民自治と感染症対策について
・大玉村にスマートインターの必要性は？



横堀平応急仮設住宅解体後の土地利用について

質問趣旨

解体が終了し更地となっている仮設住宅跡地だが、村有地として早期の利活用を願う。



横堀平応急仮設住宅跡地

松本 仮設住宅解体後の跡地利用について、会議を開催したか伺う。

総務部長 職員によるプロジェクトチームの会議を平成30年12月10日に開催し、以降9回の会議と2回の研修を実施している。

松本 今後の土地利用計画はどのように考えているのか。

村長 ここは元々営林署の苗畑事業跡地で、民間による好ましくない開発とならないよう払い請けた土地であり、特に利用目的があつて取得した土地ではない。これまで

に、工場建設地としての売却や福祉施設の建設、農福連携の施設など検討してきたが、具体的にどうするかは今後研究しながら進めていきたい。

松本 土地整備及び利用計画の着手時期を伺う。

村長 整備や着手には村単独では難しく、産学官の協力が必要であるが、コロナウイルス感染症の影響ですぐに取り組めるような経済状態、社会状態ではない。いまはしっかりと方針を決めていく時間と考えている。

質問趣旨

(仮称)西部幹線道路の計画について

早期実現を願う。

松本 これまでの説明で、令和3年度着工、令和6年度までの完成と聞いている。着工と完成の時期に変わりはないか伺う。

産業建設部長 上額沢から糶免までの約1キロメートルは、令和元年度までに用地測量や補償調査を実施しているが、令和2年度は当該路線の財源として

いた国の交付金がゼロ査定となっている。当面の計画として令和4年度に工事着手、令和7年度までに道路改良工事の完了を目標としているが、財源の問題もあり不確定な状態である。全体構想約3キロメートルの完成時期は未定である。

松本 改良工事にかかる事業費の予定額は。

産業建設部長 上額沢から糶免の約1キロメートルの間で、2億5千万ほどの事業費になると見込んでいる。

松本 国や県の補助金を伺う。
産業建設部長 財源としているのが国の「社会資本整備総合交付金事業」である。



(仮称)西部幹線道路の全体構想



新型コロナウイルスから村民を守る対策を

質問趣旨

新しい生活様式を実践し、新型コロナウイルス感染症を予防できるよう、行政の対策を求める。

鈴木 経済的に困難な状況にある村民や村内事業者への現在の対策は。

住民福祉部長 新型コロナウイルス感染症の影響による休業等で、一時的に減収した世帯を対象とする生活福祉資金制度の特例貸付と母子父子寡婦福祉資金貸付金制度がある。両制度の貸付窓口は社会福祉協議会になっており、村広報紙などを通して周知をしている。

産業建設部長 村の「中小企業等経営持続化繋ぎ交付金」、県の「感染症拡大防止対策協力金」を支援策として運用している。また、特別資金の利子補給補助金や信用保証補助金を実施する。県の飲食店応援前払利用券発行支援事業に村単独での上乗せも行う考えである。

鈴木 水道料金の減免など全村民を対象とした対策は検討できないか。対策は検討できないか。感染拡大状況を見極めながら検討したい。

産業建設部長 今後の

鈴木 大規模な自然災害発生時、避難所でコロナウイルス感染防止に必要なマスクや消毒液、間仕切りの確保はできているか。

住民福祉部長 マスク、消毒液は必要量確保できている。間仕切りは現在品薄状態なので、早急に発注し備蓄したい。

鈴木 体温計は十分な数が確保できているか。定期的な校正や買い替えは行うのか。

住民福祉部長 非接触型体温計には校正の機能がない。誤差が生じるようになった場合は買い替えにより対応していく。



備蓄マスク

コロナ禍でも安心な教育環境の確保を

質問趣旨

ソーシャルディスタンスを確保し、人のつながりを重視した大玉の教育を願う。

鈴木 早期の双方向オンライン授業は可能か。

教育部長 現状では課題が多く困難である

が、校内ネットワークの環境整備や一人一台の端末の整備と併せて、実施にあたっての課題解決に努めながらオンライン授業の導入に向けた検討を重ねていきたい。

鈴木 土曜日、日曜日の補習授業や夏休みの授業は検討しているか。

教育長 夏休みを18日間短縮し、8月1日から16日までを夏休みとする。土曜日と日曜日に補習授業を行う予定はない。

鈴木 放課後子ども教室など地域の方々が関わる活動再開への検討や準備をどのように進めているか。

教育部長 放課後子ども教室は当初5月の開校を予定していたが、新

型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、9月の活動開始に向け準備を進めている。再開にあたっては、児童同士、児童とボランティアの3密を避けるため、それぞれ

の教室ごとに2班に分けるなどして充実した活動ができるよう工夫したい。活動メニューも密接を避けた内容とし、広い場所での活動できるように考えていく。



第2波が起こった場合の学習対策を

本多保夫議員



定年退職後の職員再任用について

質問趣旨

定年退職後の再任用職員配置について。

本多 退職となった職員が再任用でありながら、なぜ退職前の役職に就いたのか。制度の変更なのか、政策なのか伺う。

総務部長 再任用職員の位置づけは、地方公務員法第3条第2項で「一般職は、特別職に属する以外の一切の職とする」と規定されている。再任用職員についても一般職に属しており、任用上の役職も定年前の一般職の職員と同様の扱いになっている。

村長 新型コロナウイルスにより緊急事態宣言が出されていたため、緊急に対応ができるよう管理職の異動は一切行わなかった。加えて重要な継続事業もあることから、今回の人事内容となっている。

本多 職員の課長等への登用はどのようなようになっているか。

総務部長 年齢により課長になるといった基準は一切ない。勤務実績などを基に評価し、村長の任命権で登用をしている。

村道細田矢沢線の県道昇格について

質問趣旨

県道への昇格見込みと村道の整備状況は。

本多 県道昇格のために県などの関係機関に働きかけてきた内容を伺う。

産業建設部長 平成6年10月に、安達太良東部幹線市町村道路県道昇格期成同盟会を組織した。関係する二本松市、郡山市、大玉村、福島市、本宮市の5市村並びに同議会、さらには商工会議所や商工会も組織に加わり、県道昇格と整備促進を要望してきた経過がある。一昨年にも村道細田矢沢線を含む路線の要望活動を県にしている。

た検討をしている。

本多 痛みの激しい村道の修繕計画はあるか伺う。

産業建設部長 平成26年度に合計60キロ弱を対象にした村道の路面性状

調査を実施した。現在、村内全域で修繕が必要な道路は約12・2キロあると把握している。行政区からの声もお聞きし、当年度予算の状況も見ながら修繕を行っていきたい。



本多 待避所設置の検討経過と結果を伺う。

産業建設部長 現時点における路線の待避所は、細田地内から本宮市方面に向かって6カ所、反対側には8カ所あり、充足していると考えている。待避所の拡幅や周辺の側溝整備をして、機能を向上させるなどを含め



樹木により狭まる待避所

他に次の質問がありました。
・長井坂生活道路の新設見込みについて



新型コロナウイルス感染症への対策を

質問趣旨

全世界に広がっている新型コロナウイルス感染症から、住民を守るさまざまな取り組みを伺う。



栞記念病院に新設される安達地方発熱外来

武田 新型コロナウイルス感染症の検査体制が遅れている中、安達地方発熱外来が設置されるが、運営や利用について伺う。

住民福祉部長 事業が決定したわけではないが、安達医師会、3市村、安達地方広域行政組合で協議している。管内に住んでいる方、勤務している方を対象に、自覚症状のある方やかかりつけ医からの紹介などによる患者等を、PCR検査が必要かどうか発熱外来で判断し、必要があ

れば検体検査を行えるところにつなぐ。専用ダイヤルで予約を受け、医師会の医師が輪番で対応する形で協議している。

武田 減収などへの支援策の申請状況を伺う。

総務部長 村事業の中小企業等経営持続化緊急交付金は44件の申請があり、交付決定額は1191万8千円である。感染拡大防止対策協力金は、25件の申請で812万円の交付決定額となっている。社会福祉協議会が窓口の緊急小口資金貸付は2件、総合支援資金が1件となっている。

村長 第2波、第3波により同じような経済状態が続くのであれば、継続していく考えである。支援拡充についても、別の角度から検討したい。

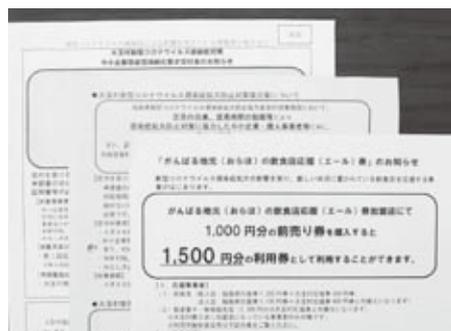
産業建設部長 国・県の事業は村で件数を把握していないが、商工会を通じて申請を行なったものについて情報をいただいております。国の持続化給付金は19件、県の協力金は11件と聞いています。

武田 村独自の支援策の継続・拡充の考えを伺う。

武田 いま行われている支援策は商工業が中心だが、農業分野、特に畜産業や花卉農家での影響が大きいと聞いている。影響を把握しているのか。

産業建設部長 花卉分野では市場の動きが止まり、畜産分野では価格の下落などが起きている。花卉農家には持続化給付金への誘導等を行い、畜産農家とは代表者と意見交換をしていく。

武田 学校が長期間休みとなり、子どもたちは



経営が持続できる支援の継続と拡充を

コロナや学習が遅れることへの不安を抱えている。学校が再開しても不安を抱える子どもは多い。さまざまな不安に寄り添った支援が必要ではないか。

教育長 学校が再開し、学びの保障をどうするかだけでなく、子どもたちの心のケアも今後の課題になってくると思う。

武田 ただでさえ長時間労働を強いられている教職員だが、感染症対策や子どものケアなどが新たな負担になっている。

教育長 同じ認識を持っていて。市町村教育委員会連絡協議会を通して、県や国に要望していく。

武田 新型コロナウイルス感染症対策による長期休校中、要保護・準要保護児童生徒に対し、学校給食が実施されたとき、相当額を支給できるとされているが、大玉村の対応を伺う。

教育部長 臨時休校中も学校給食が実施されたとき、給食費相当分を支給したい。

7月議会だより おおたま 12

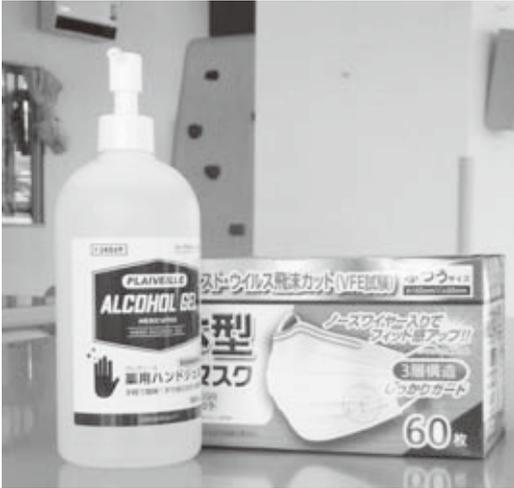
須藤軍蔵議員



新型コロナウイルス感染症対策の強化を

質問趣旨

「新しい生活様式」と言われるように、感染症対策の長期化が懸念される。これからの村の姿勢を伺う。



日々の感染対策がこれからも必要である

須藤 新型コロナウイルス感染症は世界規模の危機となっている。住民の健康・暮らし・教育を守るのは国の責務ではないのか。「自粛と補償は一体に」が大切である。地域の実態に即した、柔軟かつ迅速で使い勝手のある予算や対策が求められる。村は住民の生活、農業、商工業の実態に合わせた対応ができるよう、県や国に強く要望すべきである。今後の村の姿勢、方針を伺う。

村長 コロナとともに生活をする、経済活動をするというふうな状況になってきていると思う。生活の面や経済の面なども含めて今回は災害だと感じている。災害を克服するために、国・県それぞれに役割があり、その役割をきちんと果たしていただくことを要望している。また村としても現状を把握し、果たすべき役割に対応していきたい。1年2年ではなく、長い年月をかけて対応していく覚悟を持って当たらなければならないと考えている。

住民から信頼される村・職員とは

質問趣旨

新型コロナウイルス感染症対策に、村と職員は時機を失せず対応をしてきた。このことは多くの村民から評価を得ている。

須藤 職員は4月から特別定額給付金の申請業務など、コロナ対応では連休返上で頑張ってきた。村長の感想を伺う。

副村長 報告・連絡・相談を徹底させている。また事務における問題点を共有し、書類として上司に提出させるなど、職員に指導している。

村長 職員には、住民目線で仕事に取り組みよう指導している。住民からの要望や問い合わせなどに必ず返答する。これらの繰り返しで、住民の信頼を得ることができると考える。

村長 特別定額給付金では、連休中休まずに対応を行い、5月13日には6割以上の方に交付させていただいた。事業所関係でも申請後短期間で給付するなど、担当部署だけでなく、役場全体のコロナに対応する意識が高かったと思う。それと同時に、感染拡大防止には、村民の皆さんにも注意しながら生活していたのだと感じている。我々も、村民の皆さんも、今後も気を緩めずに行動をするようお願いしていきたい。

須藤 村職員として誇りと自信を持って仕事に

あたることができると環境づくりを求める。

須藤 行政の評価は信頼の積み重ねである。継続事業や課題は課内で共有し、書類で残す必要が



村民から信頼される職員であるために

コロナ禍で自然災害に備えるには

質問趣旨

新型コロナウイルス感染症が広まる中の自然災害に備えるため、住民と行政が一体となった対策が必要と考える。



ハザードマップの説明を聞く住民
(令和元年度 大玉村防災訓練)

佐原 新型コロナウイルス感染症対策として、より多くの避難所開設や分散避難の周知を行うよう、国は都道府県などに通達した。本村の対応を伺う。

住民福祉部長 避難所は村内に14カ所あり、増やさなくても対応できると考えている。分散避難も感染症対策には非常に有効だと認識している。村内4カ所の宿泊施設に協力していただければ、協定の締結を進めている。介護が必要な方の福祉避難所は、「陽だまりの里」や「ぼたん荘」と協定を結んでいる。

佐原 自然災害が起きた場合の各避難所で想定される避難者数は、

住民福祉部長 防災計画で示している避難者数の1/2もしくは1/3と考えている。

佐原 地域が自主防災組織の立ち上げに一歩踏み出せるように行政の支援が必要と考える。村の考えを伺う。

村長 災害時の共助、自助の部分を地域に担っていたくものが自主防災組織になる。地域の皆さんと十分に話し合い、村でも支援しながら、地域の実情に合った自主防災組織をつくりたい。

子どもたちの心のケアと 学習支援のために

質問趣旨

長期休校の影響で学習の遅れや生活のリズムが崩れた子どもにきめ細やかな支援や配慮が必要ではないか。

佐原 学校再開後、ストレスを抱える児童・生徒の心のケアのため、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーによる支援が重要となる。現在の相談回数と利用状況を伺う。

教育長 スクールカウンセラー1名が週1回、ソーシャルワーカーも1名が週4回勤務している。幼稚園、小学校、中学校で3月から5月にかけてコロナ関係の相談はなかったが、これから相談が増えてくるのではないかと考えている。

佐原 増員する考えはあるか。

教育長 現在の相談件数であれば増員せずに対応できると考えている。

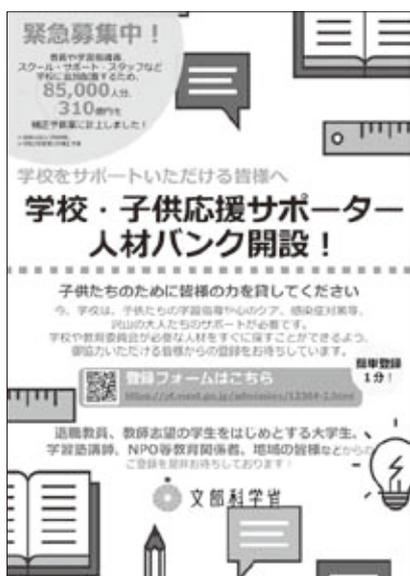
佐原 「学校・子供応援サポーター人材バンク」の活用と課題について

ク」の事業内容と本村での活用を伺う。

教育部長 退職教職員や教員志望の学生、NPOや学校関係者、地域の方々を対象とした登録制度である。国の第2次補正で予算措置されたことから、県北教育事務所と連絡調整し、積極的に活

用を検討したい。

教育長 学習の支援、オンライン化に向けてICTに関する専門的な知識を持った方に登録をお願いしたいと思っただけのように積極的に働きかけた。



他に次の質問がありました。

・マイナンバーカードの活用と課題について



学校行事と今後の課題について

質問趣旨

新しい生活様式が求められている。
学校生活での工夫や成果は。

菊地 感染症対策を取りながら学校生活でどんな工夫をしているか伺う。

教育長 全校集会を放送に替えたり、屋外をうまく利用したりしている。手洗いやうがい、マスクなど基本的な生活習慣を徹底している。優先度を学校でしかできない活動として、新しい時代の難局に対応できるように学びの場になるように教育活動を進めている。

菊地 学習発表会などはどんな工夫がされているか伺う。

教育長 今までは練習に時間を費やしていたが、日常の授業の発展的なもの、子どもたちの調べ学習で実りあるものにしていきたいと先生方が工夫されている。

菊地 休校中、子どもたちが成長したと感じたことを伺う。

教育長 1つは、学校に行くことができなかつたことで今まで当たり前だった学校生活の価値を子どもたちが実感できた。

2つ目は、自分で計画して自分で学習を進め、自立的な行動が多くなってきた。3つ目は、家のお手伝いを進んでやる子どもが増えており、家族の一員としての自覚が高まってきたという先生方の報告があった。

菊地 これからの課題解決のためにコミュニティ・スクールの成果として役立つことは何か。

教育長 学校とコミュニティ・スクール委員の方たちが課題を共有して進めようとしているところが一番大きな成果である。

「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働本部」は自転車の前輪と後輪であり、コミュニティ・スクールは前輪つまり方向性を示し、後輪いわゆる駆動する方が地域学校協働本部だと言う方がいる。ボランティアや保護者の方々などと課題を共有して解決する方向性が見えてきたことも大きな成果である。



第2回 コミュニティ・スクール委員会（7月7日）

直売所を考える

質問趣旨

個々の農家の持続的な支援のために。

菊地 農家の今後についてアンケートを取ったことはあるか。

産業建設部長 勉強会、研修会は行っているが、会員に対するアンケート等については実施していない。村においても直売所、直売会という視点からのアンケートは実施していない。



多様な生産農家に支えられる直売所

目指せ!! 健康長寿日本一おおたま

「健康長寿」について考えること、実践していることを「大玉村消防団」の幹部の皆さんに伺いました。



渡邊淳一訓練部長 菅野善啓団長 高橋信一副団長

皆さんにとって「健康」とは？

菅野団長 好きなことをやって、家族や地域の人たちと幸せに暮らすことかな。早寝早起きして、きちんと食事をし、生活リズムを崩さないようにすることだね。

高橋副団長 やるべきことをきちんとやって、ストレスをためず一日一日を楽しく、健康を過信しないで過ごすことかなあって思っています。

渡邊訓練部長 人との関わりですかね。消防団組織の中で、たくさん仲間と話し関わることで自分の健康が保たれているんだと思います。

長年消防を続けられていますが、元気の秘訣は？

菅野団長 家を出される料理は、体を考えて作ってくれていると思うからしっかり食べる。もちろん晩酌も欠かさないけどない(笑)

高橋副団長 大好きな野球を観て、もちろん酒も飲むのがいいんじゃないか。あと体の調子が気になったら病院に行つて先生と仲良くすることだね。

渡邊訓練部長 単身赴任で自炊をして一人で食べるので、家で一言も話さないのはよくないと思って、「いただきます」と大きい声であいさつしています(笑)

消防団として村民の皆さんに伝えたいことは？

菅野団長 自分や家族の命などを守るため、日頃からの予防・防災に皆様もご協力ください。



さい。また今後も消防団の活動にご理解ご協力をいただければと思います。

高橋副団長 地域を自分たちで守っていくという使命感のもと、日頃から頑張っております。最近は団員減少の問題も各分団で出ております。新消防団員の入団を心よりお待ちしております。

渡邊訓練部長 訓練や活動を通して、年齢や職業の垣根を越えたつながりを持つことができます。大玉村の安全を守るために一緒に活動してくれる方の入団をお待ちしています。

大玉村消防団

「自分たちの地域は自分たちで守る」という使命感のもと、地域の防災リーダーとして、大玉村の安全を守り、安心して暮らせる生活のために、本業の仕事を持ちながら活動しています。活動を通し年齢や職業の垣根を越えたつながりを持つこともできます。大玉村ホームページにも団員募集内容や活動写真を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

大玉村議会「村民の声を聴く会」を開催予定です。

期日	場所	時間
11 / 4 (水)	北部ふれあいセンター	午後7時～
11 / 5 (木)	農村環境改善センター	午後8時30分

みなさんの声・意見をお聞かせください。お待ちしております。

編集後記

新型コロナウイルス感染症のもたらした影響として特筆すべきことは、自粛の中で政治が国民の注目をかつてないほどに集めたことではないでしょうか。その結果、誰彼問わず、政治がより身近に感じられるようになりました。

6月定例会では、感染症対策として議場だけでなく別室でも議会傍聴ができるようにしました。住民の皆さんに議場に足を運んでいただける機会は大変重要であると思っています。臨場感のある紙面作りに励んでまいります。

(菊地 厚徳)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 ● 佐原百合
- 副委員長 ● 佐藤信一
- 委員 ● 渡邊啓子
- 委員 ● 菊地厚徳
- 委員 ● 武田悦子
- 委員 ● 押山義則